



療育カルテ
教育シート

(基本的には教育機関からの情報を家族が記載、または各機関の記録をそのまま添付)

- 「保護者の願い」には、支援の方向性や進路、本人・保護者が願う将来像を記載します。
- 「学校での様子」には、授業での学習の様子、課題への取り組み方、休み時間の過ごし方や身の回りのことのほか、社会性やコミュニケーションの現状、活動する上で配慮する運動機能や感覚等の特性について記載します。
- 「目標の経過」には、重点目標の評価や達成状況、次期への方向性について記載します。

療育カルテ【教育シート】

記載日(年 月 日)

在籍学校	〇〇小学校		学年・学級	6年
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・中学に進学したら就労に向けて、活動と結果の関係性の理解を学び深めていきたい。労働的な活動と報酬の関係が理解できるように、作業学習だけでなく、家庭を含め1日を通して取り組めるように相談して進めていきたいと願っている。 ・適切な表現方法でのコミュニケーションを身につけて欲しい。 ・スケジュール等の生活設計が自分で出来るようになって欲しい。 			
学校での様子・現状や支援の方法	学習	動作を伴う学習が有効で、操作すると具体的思考のイメージ化が図れる。視覚的支援のある学習が有効で、見通しをもった学習に欠かせない。機械的な記憶が強く、学習活動と行動・場面設定・関わり方を学ぶ。長所として一定のパターンのある学習が有効で、動機付けや手続きの変更の伝達法がポイントになる。		
	身の回り	食事は負荷の高いものであり、無理せずコンディションに合わせた量や食事時間の調整があると摂取できる。季節特有の変化に加え、生活リズムも徐々に崩れると修正が難しく配慮が必要。		
	余暇	絵本・ビデオ・DVD への関心が高い。ファンタジーを思い出しながら絵を描いたり、大人とやりとりしたり、独り言を言ったりする。簡単なごっこ遊びを楽しんだりもする。		
	コミュニケーション	学校では言語要求で済む場面も多いが、要求内容が不十分な時はお話ブックを活用するようにしている。文字の読み書きが可能で、簡単に文脈に応じた一語、二語文程度なら内容を理解できる。予定表では、文字と線画の視覚情報を併用している。どんな些細なことでも、書いて伝え共有することが効果的。		
	社会性	学習や活動でのルールやマナー等は、事前の交渉や確認が効果的で、状況によって自己評価の観点を盛り込むことも有効。コンディション不良の時は、ストレス耐性が極端に低下するため、当たり前でできていた約束が守れない状況もあり活動への配慮が必要。		
その他 (活動や特性への配慮等)	睡眠・食事・天候などに起因するコンディショニングの難しさが、ストレス耐性の極端な低下に強く影響する。そのため、聴覚刺激への過敏さが増したり、冷静にやりとりできなかつたりする状態を招くこともある。休息の取り方、24時間サイクルでの生活リズムの見直し、動機付け等の工夫により、今季はシーズンを通して安定して登校することができるようになってきた。			
目標の経過	適切な情報の取捨選択に困難な面があり、スケジュール提示法の配慮が必要である。今年は動機付けや活動の結果の関係性も学習され、主体的な参加も促せてきた。ただ、コンディションの不調など本人の困り感があった場合、上手に表現できず不適切な行動でしか表せないことも多く、誤学習に気がつけてきた。学年末からは騒々しさや突発的な声への過敏さが顕著で、音をかき消すために自ら音を発し、悪循環にもなり学習環境上の配慮が必要な時もある。セルフマネジメントに関しては、見えにくいものを顕在化すると主体的な判断を促せる。所要時間を意識して活動を調整するなど、捉えにくい判断基準を視覚化することで気づく力を引き出す。			

記載者 ○ ○ ○ ○